

宮園水辺だより

第 43 号

2016 年
5 月 16 日

発行：みやぞの池と坂川
を活かしたまちづくり市
民の会（略称：市民の会）
電話：04-7159-8968



鯉のぼり眺めながら “坂川クルーズ”

こどもの日 コースは宮園一鰭ヶ崎の往復に

毎年の春の大型連休中の坂川の風物詩となった「坂川“泳げ！鯉のぼり”」の今年は、Eボート乗船会がドッキングして、さらにダイナミックな風景を坂川に作り出しました。

“泳げ！鯉のぼり”は4月27日から5月7日まで開催されました。坂川鯉のぼりの特徴は、川に沿った手すりの上に泳ぐ「ぬりえ鯉のぼり」で、他にはあまり例がありません。子どもたちが思い思いに色を塗って仕上げた“自分だけの鯉のぼり”110匹が坂川の風に元気よくはためきました。このほか、坂川

に張ったロープの大型鯉のぼりや公園入口の階段上の小型鯉のぼりなど、全部で約200匹の鯉のぼりが宮園の親水公園と坂川をカラフルに彩り、家族連れで大勢の地域の人が訪れました。

オープニングの4月27日には、宮園保育園の園児たちが、それぞれが着色したぬりえ鯉のぼりを持って会場に姿を見せ、ロープに取り付けてもらった後に童謡「このぼり」などの歌を大きな声で合唱（上の写真）してくれました。



Eボート乗船会は5月5日のこどもの日に行なわれ、当日申込みあつて86人が乗って、水面から眺める鯉のぼりと坂川のクルージングを楽しみました。乗り終えた60代の男性は「違った景色を楽しめた」と、また小2の女の子は「楽しくて何度でも乗りたい」と感想を話していました。この日には、和菓子の「美しまや」の柏餅などの売店も並びました。

江口紗也ちゃん Eボートの作文が文集に連載 鱈ヶ崎の江口紗也ちゃん(鱈小2年)が書いたEボート乗船の作文が、最近発行の文集「かつしか」第62号に掲載されました。紗也ちゃんが1年生の時の昨年に乗った体験を書いた作文で、紗也ちゃんは今年もEボートに乗りました。文集は小中学校で作文教育に熱心な東葛地区の先生が集まって、優れた作文を文集にして、毎年発行しています。

馬場征興氏が新会長に 「市民の会」の今年度総会

「市民の会」の総会が4月28日行なわれ、新会長に馬場征興氏を選出しました。前年度の活動報告、決算報告を承認、坂川のさかな調査、冊子「坂川と人々の暮らし」(仮題)発行などの新年度活動計画を決定しました。会長以外の役員は次の通りです。

副会長＝渡辺満雄、天満邦弘、事務局長＝久谷與四郎、会計＝田中敬一郎、幹事＝須藤尚志、鶴谷園子、中谷彰二、佐久間英夫、中川毅、高橋啓介、正木悦夫、小野田満雄、鈴木雅美、山口武彦、小野二六、会計監査＝小川正治、黒田清志

江口紗也ちゃんの作文を、以下に紹介します。



わたしは、さかがわでボートをこぎました。さいしょにライフジャケットをきせてもらってせんせいにこぎかたをおそわってからのりました。ボートにのってこぎはじめたら、とてもおもくてびっくりしました。でも、かぜがきもちよかったです。さかがわは、おもっていたよりもきれいであさかったです。おさかなは、みえませんでした。たのしかったので、またのりたいです。



カルガモに8羽のひなが誕生

「みやぞの野鳥の池」に今年も、子育てのシーズンがやってきました。



の皆さんも、野鳥観察を楽しんでみては如何でしょう。(写真は15日午前7時過ぎに撮影)

ご寄付、有難うございました

坂川“泳げ！ 鯉のぼり”の開催中に土手を訪れた野々下の小泉尚子様と松戸市中金杉の山口幸子様から、貴重なご寄付を頂きました。誠に有難うございました。大切に活動に活用させていただきます。

池の別の場所の木の陰では、カイツブリも巣を作っており、やがてひなが生れることでしょう。家を一步出るだけで、野鳥を間近に観察できる住宅地は、全国でも珍しいそうです。地域

5月15日の朝、8羽のひなが2丁目側の浮島から3丁目側の島に移動した後、池の周囲の草むらに沿ってぐるっと一周する様子が観察されました。

池の別の場所の木の陰では、カイツブリも巣を作っており、やがてひなが生れることでしょう。家を一步出るだけで、野鳥を間近に観察できる住宅地は、全国でも珍しいそうです。地域

池周囲の環境維持にご協力ください

「市民の会」では毎月第1、第3土曜日に池周囲花壇等の除草・清掃活動をしています。5、6月は次の日程です。ご協力をお願いします。

▼5月＝21日(第3土)、29日(日・ゴミゼロ)

▼6月＝4日(第1土)、18日(第3土)

いずれも午前9時、池の藤棚広場集合。雨天中止。1時間程度を目途に終了します。